

第5回塩竈市立病院事業調査  
審議会会議 概要

平成29年1月16日

塩竈市立病院

## 第5回塩竈市立病院事業調査審議会 会議概要

日 時： 平成29年1月16日(月)18:30～19:30  
場 所： 塩竈市立病院 3階 会議室  
出席委員： 本郷会長、鳥越副会長、渡辺委員、中嶋委員、南家委員、鈴木委員、内形委員、伊藤委員  
欠席委員： 小林委員（代理出席：目黒医療政策専門監）  
病院出席者： 吉田院長、福原院長代行、加藤看護部長、荒井事務部長  
事務局： 経営改革室 鈴木室長、高橋室長補佐、扇谷室長補佐、庄司係長、大場主事、其川主事  
司 会： 経営改革室 大場主事

### <進行>

1. 開会
2. 報告  
(1) 宮城県地域医療構想について
3. 議題  
(1) 塩竈市立病院新改革プラン（案）について
4. その他
5. 閉会

---

### 1. はじめに

本郷会長

本日は第5回目の病院事業調査審議会の開催になる。宮城県の地域医療構想を踏まえて二市三町における塩竈市立病院の今後の在り方や地域包括ケア病棟の役割を考えていきたい。

配布資料の【資料1】、【資料2】の宮城県の地域医療構想の概要を踏まえて、今後どのような形で病院運営を続けていくのか、地域での医療提供体制をどう整備していくか、を委員の皆様と一緒に考えていきたい。

### 2. 報告

#### (1) 宮城県地域医療構想について

レジメに基づき荒井事務部長より説明

本郷会長

全国的に地域医療構想をみると、病床数の大幅な削減が求められている。宮城県の仙台医療圏では極端な削減はなかった。宮城県の地域医療構想について委員からの意見を伺いたい。意見が無ければ、昨年2月に中間答申を行った内容と先ほど報告があった地域医療構想との整合

を図り、新改革プラン（案）を最終答申としたい。塩竈市立病院新改革プラン（案）について事務局より説明をお願いしたい。

### 3. 議題

#### (1) 塩竈市立病院新改革プラン（案）について

レジメに基づき荒井事務部長より説明

本郷委員

ただいま、宮城県地域医療構想に基づいて塩竈市立病院新改革プラン（案）について全体の計画を説明いただいた。何か質問や意見があれば、委員より意見を伺いたい。

渡辺委員

昨年から塩竈市立病院は経営改善については様々な取り組みを実施されている。仙台医療圏は極端に人口が減る訳ではないが、今後も努力していただければと思う。塩釜医師会としては准看護学校の学生が実習でいろいろとお世話になっている。今年で創立 50 年となり、これまで 2,000 人以上の准看護学生を卒業生として送り出し、その後、卒業生は看護師を目指し日々努力している。実習等の受け入れ等を含め塩竈市立病院には目に見えない恩恵を受けている。また、ホームページが見やすくとても参考になっている。私も塩釜医師会のホームページを作成しているため関心を持って閲覧している。現在のホームページに満足せず、ホームページ上で書き込み等も出来るような工夫等、これからも努力を続けていただけたらと思う。

中嶋委員

救急受入の対応も努力しており、数値も伸びている。病床利用率が下がっているが仙台医療圏の動向を考えると、仙台医療圏は医療を必要としている人口が多い状況であり、病床が必要な状況を考慮すると病床利用率はもっと増加してもいいのではないかと。病床利用率の 1%の減少が病院にとってどれだけマイナスの影響を与えるか、を考えてほしい。

経費削減目標について、さまざまな取り組みを拝見してきて理解できる。適正な人員配置に努めることに関して、適正な配置の考えを詰めていくと、ゆとりのない環境で働いている職員が出てくるため、ゆとりのある環境の提供を期待したい。働きやすい職場は職員のモチベーションにつながってくるのではないかと。

本郷会長

宮城県の必要病床数は全国から比べるとまだまだ足りない状況にある。塩竈市立病院としても急性期や回復期、地域包括ケア病棟に係るところへシフトしてきているところである。

#### 鈴木委員

経営の効率化を踏まえながら市立病院として果たすべき役割を新改革プラン（案）の資料の 9 ページから 10 ページの記載内容を果たしていくことが重要と考える。

#### 南家委員

数値目標を掲げて、指標を内部や外部に示して良いプランである。

ただ一つ気になったところがあり、8 ページの 1 日当たりの外来患者数の実績資料をみると年々減少にあるが、これは塩竈市立病院だけではなく、厚生労働省の病院報告等をみるとの日本全体でも病院の外来患者数は、過去 15 年で 25% も減少している。その中で現在目標に掲げている数値が高いのではないかというのを感じた。

また、昨年度実施された患者意向調査の結果より、駐車場に対する不満があったが、駐車場に対する対策等も出した方がいいのではないかと。駐車場の拡充が望めないなかで、採血時間を従来の 8 時 30 分より 30 分早めて 8 時より開始していることは、駐車場の利用回転数を良くする取り組みとして貴重であり、患者様へもっと周知しても良いのではないかと。

#### 本郷会長

さまざまな意見があるが、塩竈市としての考えを内形委員からお願いいただければと思う。

#### 内形委員

前回の改革プランは、東日本大震災の大変な時期にありながら、職員の皆様には大変努力していただいた。今回の新改革プランは一般会計の負担の考え方や繰入金金の基準を明確に出していただいているので、塩竈市としても新改革プランに沿ってしっかりと塩竈市議会と協議しながら新改革プランの達成のために努力していきたい。

#### 伊藤委員

地域医療構想に沿って、塩竈市立病院の役割を考えている。早くから地域包括ケア病棟を開設している。急性期医療の取り組み等も今後の医療状況や周辺病院の状況を含めて体制を考えていきたい。採算の問題もあるが、在宅医療についても地域の病院として役割を果たしていきたい。南家委員の意見にあった、外来患者数減少の件について、平成 24 年度で小児科の医師が退職された影響や医師の異動の影響もあった。また、2 か月に 1 度のみ処方を出す長期の患者が増えた影響も外来患者数減少につながったと考えられる。駐車場の問題等もあり、採血時間を早めたが、これで満足せず今後も外来患者数増加へ向けた取り組みを考えていきたい。

#### 本郷会長

概ね良い評価を頂いているが、本日小林委員の代理でお越しいただいている目黒医療政策専門監、ご意見いかがか。

#### 目黒医療政策専門監

改革プランは、作成し終わりではなく、他病院との機能分担等の役割も担う。宮城県では調整会議を開催するが、塩竈市立病院でも他病院との役割分担を考える機会を持つような取り組みを進めていくのもいいだろう。

#### 本郷会長

地域医療という意味では、近隣の医療機関との調整・役割分担も地域医療構想の一環として唱えながら新改革プランを進めていく事になっていくと思う。

#### 中嶋委員

これから高齢化により、ますます人口が減少し生産人口が減ってくる中で、病院の夏場や冬場の患者さんのQOLを考えたときに、新しい病院への考えを早く示したほうが良いと思うが、そのような話は具体的にあるか。

#### 内形委員

塩竈市長からも新病院建設については様々な意見が出てきている。病院を新しくして、患者をもっと呼び込み、環境整備をしたいと言ってはいるが、いつのタイミングか、となると、経営の安定化を図れなければ起債申請などの準備が難しい。しかしながら、塩竈市長は遠い将来というよりは、近い将来の中で病院の建替えをと思っている。

#### 本郷会長

建物は新しいに越したことがない。他にご意見あるか。

#### 中嶋委員

職員の定着化のところで、若い職員向けの職場内の保育所等の構想はないか。近くに保育所もあるが、職場内に保育所があると看護師など、就職を考えている職員へのアピールにつながる。

#### 伊藤管理者

看護師の確保が無ければ病院運営ができないため、必要と感じる。近くでは仙塩利府病院で取り組んでいる。当院としても職員が働きやすい環境作りを考えていきたい。

#### 本郷会長

最後に日本老年学会が高齢者の定義を65歳から75歳へと発表した途端に医療政策のほうに広がり、かなり波紋を広げているようだ。高齢者の医療体制が現状より10年上にならざるを得ない。

う事が起こりかねない。そのため、本日議論頂いている内容についても若干の修正が必要なるのかもしれない。いずれにしても後期高齢者が増えていくのは変わらないため、在宅医療等の必要性が一層増してくる。地域医療構想の中で塩竈市立病院が果たすべき役割が今回の審議会等を通して整備されて地域の方々へ医療提供体制が安定的に続くことを願っている。塩竈市立病院としても努力をしてほしい。

他に意見が無いようであれば、今回の議論を基に新改革プラン（案）の内容を修正し、塩竈市長への答申として整えたいと思う。修正及び、収支計画等の資料編については、会長一任ということでよろしいか。

～異議なしの声～

<今後の予定>

平成 29 年 1 月 30 日（月）、市長への答申予定及び全員協議会での報告の予定

以上